

## 令和2年第2回12月近江八幡市教育委員会臨時会(要旨)

1. 開催日時 令和2年12月24日(木) 午後1時00分～1時40分

2. 開催場所 文化会館2階 会議室2

3. 出席委員 教育長 日岡 昇  
委員 八耳 哲也  
委員 安倍 映子  
委員 西田 佳成

欠席委員 教育長職務代理者 久家 昌代

### 4. 事務局出席者

教育部長	西 川	仁 司
教育部次長兼教育総務課長	秋 山	直 人
教育部次長兼学校教育課長	森	茂 次
学校教育課参事	宮 川	拓 也
教育総務課長補佐	畑	明 宏
教育総務課副主幹	澤	千 央

5. 会議を傍聴した者 0人

### 6. 会議次第

#### 【議 案】

○議第74号 令和3年度から使用する小・中学校特別支援学級教科用図書採択につき議決を求めることについて

### 7. 議事の経過

#### (1) 開 会(日程確認)

- ・教育長が第2回12月定例会の開会を宣言
- ・出席委員定数の確認

## (2) 議事

### ◆小学校特別支援学級教科用図書 6年生「社会科」

#### 【事務局説明…学校教育課】

令和3年度から使用する小・中学校特別支援学級教科用図書について、令和2年第1回8月近江八幡市教育委員会定例会で採択しましたが、現在使用している教科用図書が3冊供給不能となることが明らかになったため、今回、令和2年第2回12月近江八幡市教育委員会臨時会で採択していただく。

供給不能となった1冊目は、小学校6年生社会「小学館の子ども図鑑プレ NEO 楽しく遊ぶ学ぶ『よのなかの図鑑』」。

小学校特別支援学級用図書の調査研究部長の意見を聞き、当該図書が採択された時の次点の図書、福音館書店の「絵で見る日本の歴史」を代替として選定する。

選定の理由としては、大きく4つある。

1つ目の理由としては、「滋賀県教科用図書第3採択地区採択要項 4. その他(4)」に次のように取り決めがある。

#### ※滋賀県教科用図書第3採択地区採択要項 4. その他(4)

「年度途中において、採択済み教科用図書が廃版になるなど供給不能となった場合は、本年度協議会会長の許可を得て当該図書採択時に協議会で次点となった図書を代替として選定し教育委員会にて採択する。」

この度、供給不能となった小学館の「よのなかの図鑑」は平成30年度に採択された。その時、次点になったのが、福音館書店の「絵で見る日本の歴史」である。

この本は、「よのなかの図鑑」が採択されるまで、特別支援学級小学校6年生社会で採択されていたものである。

2つ目の理由として、当時の資料を見ると、以下の点について優れているといえる。

この図書は、「我が国の歴史が時代ごとに一枚の絵に大まかにまとめられており、人々の生活は時間とともに移り変わってきたことがよくわかる。」

「漢字にはすべてふりがなが付けられており、読みやすく、配列や分量も適切である」

「その時代に生きた人々が生き生きと生活する様子が描かれており、社会への理解と関心を深める内容となっており、表現や表記も適切である」

などと評価されているためである。

3つ目の理由としては、発行は1985年とやや年数が経っているが、版が重ねられていることから長年にわたって評価されているともいえるためである。第3採択地区では平成22年度に採択され、平成23年度から使用されている。

4つ目の理由として、今回供給不能となった「よのなかの図鑑」を採択した大きな理由

は、歴史だけでなく「児童が生きていくために必要な国や社会のしくみや社会のきまり」などが示されていることであった。この観点については、やや劣るというやむを得ない点はあるが、「歴史の学習」という点では、決してふさわしくないというわけではないと考える。

このような理由から、小学校特別支援学級における「第6学年 社会科」の教科用図書として「絵で見る日本の歴史」を推薦する。

## 【質 疑】

### ○八耳委員

「よのなかの図鑑」は、平成30年度に採択され、令和2年度までは継続して使われていたということでしょうか。

### ○事務局

その通りです。

### ○八耳委員

スタートした時は冊数があったにも関わらず、また、せつかく8月に時間をかけて審議したにも関わらず、なぜこの時期に廃版となるのか。毎年の課題である。子どものためにこのシステムはなんとかならないか。国や県はもっと早く分からないものなのか。

### ○教育長

県教育委員会には毎年要望しているが、なかなか難しい。

そのため、来年度以降、教科用図書第3採択地区における教科用図書の選定方法については、もう少し幅広く選択できるように考えていただきたい。

### ○事務局

近江八幡市では、特別支援学級の1年生にはこの教科書、6年生にはこの教科書という採択をしているが、他市町に特別支援学級の教科用図書の選定方法を確認したところ、このようなやり方をしている市町は少なく、他市町では、特別支援学級の子どもに例えば社会科の教科書を10冊程度採択しておいて、特別な支援を必要とする子どもは学年というより、その10冊程度の中から、その子の特性に応じたものを選択するというやり方をしている。そのため、万一その中の1冊が供給不能となっても残り9冊から選定が可能となり、この時期に、再び特別支援学級教科用図書の採択をせず、その1冊の埋め合わせは次の年の8月の採択の時に行うという市町が多い。

その方法が良いのかということも含め第3採択地区の選定方法を今後、検討していきたい。

#### ○安倍委員

毎年このようになってしまう原因は、学習の向上と言いながらも、特別支援学級の教科書の選定そのものの仕方が曖昧であったり、不安定であるからではないか。

よりよい学習のために発達に応じた教科書を選び提供していくのはよいが、個々で学ぶのか集団で学ぶのか、特別支援教育としてどのように社会科を学ばせていくのかといった先生方の特別支援教育の在り方、思いを協議会等の審議を通じて我々も学び、その上でどのような教科書を選定していけばよいのかということを考えていかないと、単に教科書が廃版になったら次点のものを選定しているのはどうかと思う。

要項に、「次点となった図書を代替として選定し教育委員会にて採択する。」と確かに書いてはあるが、納得できない。特別支援への提供の弱さをというものを文部科学省も県教育委員会も考えて選んでほしい。

#### ○教育長

インクルーシブ教育という視点も含め、教科書は、幅広い中から学校が選定してもよいのではないかと。その方が特別な支援を必要としている子どもたち個々に応じたものを選べると思うが、学校が選定することが可能なのか。必ずこのシステムを通過していかなければならないのか等、もう少し調査していただき、検討してほしい。

#### ○八耳委員

教科書は無償であると思うが、10冊も選定した場合、どうなるのか。

#### ○事務局

現在、近江八幡市では1学年この1冊という形で選んでいるが、6学年ともにこの10冊の中から選択できるというだけで、一人の子どもに1冊であることには変わらない。

#### ○安倍委員

8月に提示していただいた時には供給不能と分からなかったのか。この3か月の間に廃版となったのか。

#### ○事務局

8月の段階では供給可能かどうかの確認はしている。しかし、各市町が採択図書を決定した後、文部科学省がリストを作成し、それらが本当に供給できるのか確認する。その後、供給不能と判明したものである。

#### ○教育長

このシステム自体を変えていかないといけないように思う。

### 【採 決】

小学校特別支援学級 6年生社会科は、福音館書店の教科用図書を採択することに決定。全員賛成(4人)

◆中学校特別支援学級教科用図書 1年生「英語科」および2年生「英語科」

【事務局説明…学校教育課】

次に、中学校1年生英語科「Junior columbus21 Book1」および中学校2年生「Junior columbus21 Book2」の2冊について、採択から再検討の経過を説明する。

第1学年の Junior columbus21 Book1は、平成29年度に採択されている。

採択時の次点の図書は、「新・学研の英語ずかん ABC あそび」だが、これは令和3年度用一般図書一覧には記載されていないため採択できない。

次々点の図書は、「親子ではじめる英会話絵じてん1 らくらくひとこと編」だが、これは現在第3学年で採択されている図書になる。

次に、第2学年の「Junior columbus21 Book2」だが、この図書は令和元年度に採択されている。

採択時の次点および次々点の図書は、決まっていなかった。

以上のことから、今回、令和3年度用一般図書一覧から新たに2冊を選ぶことになった。

候補として、「くもんのはじめての英会話じてん CD つき」「CD つき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話」「親子ではじめる英会話絵じてん2 ふだんの場面編」の3冊を挙げ、調査研究を行った。

まず、第2学年で使用する教科用図書は、「CDつき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話」と「親子ではじめる英会話絵じてん2 ふだんの場面編」の2冊を比較、調査した。

調査研究の結果、どちらの図書も身近な日常生活の中の会話表現を場面ごとに、簡単な英文でやりとりできるようまとめられており、学習指導要領に沿った内容となっている。すべての英会話の場面がはっきりとした色調のイラストで表現されており、会話の内容がイメージしやすくなっている。

「親子ではじめる英会話絵じてん2 ふだんの場面編」は、第3学年で使用している図書と同系列で、ふだんの場面編では、ことばの場面ごとに英会話の表現が紹介されており、現在、第3学年で使用している図書 らくらくひとこと編では、ことばのはたらきごとに紹介されている。

この2冊を2学年にわたって使用することにより、英会話の表現を継続的、効果的に学ぶことができる。

「CD つき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話」は、「親子ではじめる英会

話絵じてん1・2」の両方がまとめられており、第3学年の内容も含まれている。しかし、この図書は、表紙に大きく「小学生の」と記載があり、配慮が必要であると考える。

以上の点から、「親子ではじめる英会話絵じてん2 ふだんの場面編」を第2学年英語の教科用図書として推薦する。

次に、第1学年で使用する教科用図書は、「くもんのはじめての英会話じてん CD つき」と「CD つき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話」の2冊を比較、調査した。

調査研究の結果、どちらも、身近な日常生活の中の会話表現を場面ごとに、簡単な英文でやりとりできるようまとめられており、学習指導要領に沿った内容となっている。すべての英会話の場面がイラストで表現されており、会話の内容がイメージしやすくなっている。

「くもんのはじめての英会話じてん CD つき」は、発音のカタカナ表記が小さく見にくい、身近な日常生活の中の会話表現を1場面1対話の形でまとめてあり、非常にわかりやすくなっている。また、辞書のような形にコンパクトにまとめてあるため、生徒自身で日本語から英語表現を調べることができるようになっている。

「CD つき小学生の英語レッスン 絵でみて学ぼう英会話」は、ことばの場面・はたらき両方がまとめられているため、くもんの本より、ややわかりにくく、先ほども述べたが、「小学生の」という記載への配慮が必要であると考える。

これらの理由により、第1学年では、「くもんのはじめての英会話じてん CD つき」を推薦する。

以上、調査研究部会から、中学校特別支援学級における第1学年英語科の教科用図書として、「くもんのはじめての英会話じてん CD つき」を、第2学年英語科の教科用図書として、「親子ではじめる英会話絵じてん2 ふだんの場面編」の推薦をする。

### 【質 疑】

○八耳委員

1年生のくもん出版というのは、公文式学習のくもんと関係ないのか。

○安倍委員

公文式学習教室に通っている子どもはこれを使用しているのか。

○事務局

そこまで確認はしていない。

○安倍委員

2年生の教科用図書「親子ではじめる英会話絵じてん2 ふだんの場面編」について、この教科書と同じシリーズ「親子ではじめる英会話絵じてん1 らくらくひとこと編」を3年生で使用しているので、教科書としては良いのだろうとは思いますが、字より絵が真っ先に目に飛び込んでくる。絵がはっきりしているというより、きつい印象がある。教科書なので、絵は補助的なもので良いと思うのだが。

○教育長

絵じてんとあるので、絵が強調されているのではないか。

○西田委員

今風で子どもたちには受け入れやすい絵なのかもしれませんね。

○八耳委員

絵じてん1と絵じてん2では絵の雰囲気が違うように思う。1の方が確かに見やすい。

○教育長

気になるのは、絵じてん2を学習して、次に絵じてん1を学習するところ。3年生の教科用図書で絵じてん1をすでに採択しているため仕方ないとはいえ、本来は中身を見ても1を学習してから2だと思う。子どもたちにとって一番よい使用方法を、事務局からご指導いただきたい。

**【採 決】**

中学校特別支援学級 1年生「英語科」は、くもん出版の教科用図書を採択することに決定。 **全員賛成(4人)**

中学校特別支援学級 2年生「英語科」は、三省堂の教科用図書を採択することに決定。 **全員賛成(4人)**

**8. 閉会**            教育長が第2回12月臨時会の閉会を宣言